

銚子市しごと・ひと・まち創生総合戦略の概要

人口ビジョン

〔2060年を視野に入れた〕
中長期ビジョン

2060年目標人口36,000人
(社人研推計24,586人)
※社人研推計より11,500
人程度の増加をめざす

人口の将来展望

- 2040年に転出超過0を目指し、2060年までに転入超過200人程度を目指す
- 2040年に合計特殊出生率1.8を目指し、その後は1.8を維持
- 平均寿命(健康寿命)の延伸により元気な高齢者の増加を目指す

目標人口を達成するため 中長期の成長戦略

- ①首都圏の食料供給・流通基地機能の強化
- ②自然(再生可能)エネルギー産業の誘致促進
- ③質の高い子育て支援と安全・安心な文教都市の形成
- ④自然、気候、風土を活かした高齢者の移住促進
- ⑤広域幹線道路網の開通による道路ネットワークの確立

総合戦略(平成27年度～31年度の5か年)

確かな食・健康・自然をキーワードとした成長戦略
～地域資源が循環する銚子創生～

1 基本姿勢

- 人口ビジョンに掲げる将来展望の実現に向け、今後5か年の基本戦略と具体的施策を提示
- 若者が求める「しごとづくり」を第一の目標とし、併せて関連する「ひとづくり」、「まちづくり」の施策を推進
- 官民連携、異業種連携、政策間連携を推進し、市民をはじめとした多様な主体によるまちづくり
- 外部有識者の参画により客観的な効果検証と改善を行うPDCAサイクルの確立

2 基本戦略と具体的施策

1 「稼ぐ力」所得アップ産業創出プロジェクト(しごとづくり)

日本一の水揚げを誇る漁業、全国有数の出荷額を誇る農業や水産加工業、銚子特有の気候、風土、地勢などから育まれてきた伝統産業を維持・発展させ、雇用機会の創出を図る。また、主に女性の雇用をターゲットとした健康・美容・癒しの分野のしごとを創り、これらの産業間の連携により、若者にとって魅力のある新たな銚子ブランド産業を創出する

2 郷土定着・移住促進プロジェクト(しごとづくり・ひとづくり)

小学生から継続的にふるさと教育を推進し郷土愛を高めるとともに、社会人になっても銚子に関心を持ち、将来のUターン増加に繋げていく。また、日本一早い初日の出、銚子ジオパーク、銚子電鉄など銚子の魅力を今以上に情報発信し、移住者や観光客の増加に繋げるとともに、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた外国人観光客の誘致促進のための環境を整備する

3 まちの宝 子ども育成・高齢者健康活躍プロジェクト(ひとづくり)

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行うとともに、出生率向上の阻害要因の解消のため、一人ひとりの育児の悩みや相談などにきめ細やかに対応していく。また、市民の健康増進のための施策を推進し、元気な高齢者が活躍できる仕組みづくりを構築する

4 地域力・市民力応援プロジェクト(まちづくり)

市民が地域を愛し、生きがいを持って安心して暮らし続けることができるよう、多様な主体が連携して地域を支える仕組みを構築する。また、「人口減少・超高齢社会」を見据えた公共施設の再編、公共交通網の再構築などを推進する

- 漁業の6次産業化の推進、水産物の販路拡大
- 農畜産物の販路拡大・6次産業化の推進
- 創業(第二創業)の支援、企業・起業家の誘致
- 健康商品等の開発
- 犬吠埼温泉を活用した商品開発
- 医師・看護職等の確保
- 自然(再生可能)エネルギー産業の誘致促進 など

- ふるさと学習の推進
- 銚子ジオパークの推進
- シティプロモーション・観光プロモーションの推進
- 移住・定住の促進
- スポーツツーリズムの推進
- 外国人観光客の誘致促進
- 銚子芸術村の推進 など

- 少子化対策の啓発
- 子育てサービスの充実と利用者支援
- 市民の健康増進
- 教育環境の整備
- 地域包括ケアシステムの構築
- 日本版CCRC構想の検討

- 「キンメダイの町 外川」の創生
- 地域防災力の向上
- 地域資源循環の仕組みづくり(地域通貨の流通)
- 公共施設の再編
- 公共交通網の再構築

食・健康・自然をキーワードとした成長戦略